

第2号様式（第12条関係）

令和4年度第3回大和市街づくり推進会議 会議要旨

- 1 日時 令和4年10月18日（火） 10時00分から11時10分まで
- 2 場所 大和市桜丘学習センター 202講習室
- 3 出席者 9名
- 4 傍聴人数 0名
- 5 議題
 - ・第21回大和市街づくり賞について

会議資料

- ① ・次第
- ② ・資料1-1 第21回大和市街づくり賞応募場所リスト
- ③ ・資料1-2 第21回大和市街づくり賞応募場所マップ
- ④ ・資料1-3 第21回大和市街づくり賞「わたしの居場所」応募書類
- ⑤ ・資料1-4 第21回大和市街づくり賞一次選定用シート

■令和4年度 第3回 大和市街づくり推進会議 会議録■

[会議名称] 令和4年度 第3回 大和市街づくり推進会議

[開催日時] 令和4年10月18日(火)10時00分から11時10分

[開催場所] 大和市桜丘学習センター 202講習室(ウェブ併用開催)

[出席委員] 9名(欠席:2名)

[現地出席] 杉崎 和久/三浦 由理/江村 郁子/大峰 英一/山田 俊明/星野 澄佳/平田 章

[Web出席]黒石 いずみ/河村 奨

[欠席] ホーテス シュテファン/須賀 良二

[事務局] 6名(街づくり推進課長、街づくり推進係5名)

[担当課] 街づくり施設部 街づくり推進課 TEL.046-260-5483

[傍聴者] 0名

[公開の状況] 公開

I. 会議次第

1. 開会

2. 議題

・第21回大和市街づくり賞について

3. その他

4. 閉会

II. 内容

1. 開会

2. 議題

- ・第21回大和市街づくり賞について
事務局より説明ののち、質疑応答。

質疑応答(○…委員 ▼…市)

- 今日の時間の使い方だが、たぶん一回で決まると思えない。絞り込みに時間がかかると思う。現地見学の際、どんなことを聞くか、事務局が行く場合、どのようなことが聞きたいのかなど論点を少し出すという時間もとりたい。事務局から提案があったのは書類審査なので書類を見たうえで丁寧に全てを理解するという時間は取れそうにない。事実関係をわかる範囲で情報を補足し、質疑応答して、それが終わったら1回目の投票をしてしまいたい。そこで、5, 6件に絞れたら話は早いですが、例えば5件目、6件目が2票で10件くらいあったらどうするか、これは読み取り方によってばらけると思うが決選投票したうえで通過場所を決定するとの提案だ。まずは決め方から確認をしたいと思うが4つ表彰なので4件に絞り込んでもよいか。それではその前提で、内容がわからないことを事務局から情報提供いただく時間にしたいと思うがよいか。
- 選定の視点というものが4つ書かれているが、それぞれ見方で判断に迷う。多様性というのは活動の多様なのか、場所の多様なのか、個人の捉え方でだいぶ変わってくると私は思うので、この多様性というのは何を主とする考えなのか確認させていただきたい。
- ▼ 多様性というのは活動であったり、いろんな年代の人が集まっていたり、そういう全てを含めて多様性を感じられる場所のことであるかと思う。
- 私の理解は特定の人が集まるだけでなく、違う属性の立場の人の出会いがある場所、くらいのことでいいかなと思う。例えば10の属性の人がいるからいいとか、2つだと少ないとかではなく、開いて交流があるようなそういう場になっていることを指していると思う。
- そうすると、中には閉じられている場所もある。
- そういう場所は今回の趣旨からは少しずれているかなど。つまり、基準が4つある時に多様性の視点は落ちるということになるかもしれない。個人の庭などは今回の表彰の趣旨からは少し離れてしまう。でもそういう居場所もあるという声も収集できた。とは言っても評価の基準からすると評価は低くなってしまふ、ということで良いのではないか。
- 4つの視点の①人のつながりが感じられる場所というのは活動が中心かなと思う。それに対して③の多様性を感じられる場所というのは、先程人のつながりの部分の多様性の話をされていたが実際はそういう場所を作られている部分も含むのかなど私は理解している。実際に居場所を作っているケースだとこの辺の評価を上げるといふことにしている。
- 最後の本審査の時はたぶんここを厳密にもう1回議論した方がいいと思う。点数の付け方として平均的なところを5点にするのか等を含めて、総合的な順位を決めていただくということでもよいかと思う。この議論で基準点の理解を共有するというところもある。
- Aはオープンしてどれくらい経つお店なのか。

▼ 記載がないため確認する。

- 4、5年くらいは経つと思う。
- まあまあ実績があるということだと理解した。
- 1から4まで最終的に4件決めるとのことだが、これは1が一等賞、2が二等賞とかではないということだろうか。
- 総合的にということだ。
- 承知した。例えば、①はとっても少ないけど、②の新しい時代がすごくいいとか、そういうのはありか。これはこの4件がまんべんなく点を取るのか、それとも特に抜き出ているものがあれば、それはそれで評価するのか、実際の例を見ながら思った。今日、4件選ぶからその時の意識として知りたい。例えば、ここはすごくいいけど、新しい時代ではないなどとなった時に外すのかどうか。
- 今回は委員の方の好みでいいのではないかと思う。次回は点数化して順位をつけるので、ただ合計するのか、比重をつけるのか、分野ごとに選ぶのか、次回は議論になると思う。
- その時に候補が4件や5件しかないと、結構厳しいのではないかと思った。見学に行くのは4～5件と物理的に限られているわけだから、その中で順位をつけることも前提に選択しておかないと最終的に困らないか不安である。
- 要は4件選ぶのでそれが各分野1個ずつ選ぶ方がいてもそれはいいかもしれない。今日はそこまで厳密にやらなくても委員の方の切り口がそれぞれあれば良いのかなと私は認識している。たぶん今から揃えるのは難しいと思う。
- では、そういう意識で第一次書類審査をしました、ということでしょうか。
- この中から4件、賞として選ぶ時の選び方は総合点として考え、厳密に点数化するわけではないので、どんな方法でも4件選んでいただくという選び方でそれぞれの説明が出来れば良いのかなと思う。
- 総合的にオールマイティーに全部というのは少し難しかった。また、マイノリティーを否定しないということが多様性ではないかと私は思う。
- 私はどちらかというと多様性というか、人や動きが交じり合うようなところを中心に選んでいる。4票投票した時に揃うか、ばらけるかということも含めて楽しみでもある。
- 投票は4票でなくてもいい気がする。
- そうすると数は決めておいた方がいいかもしれない。3票入れた人と10票入れた人だと意味合いが変わってくる。4件である根拠は、4件を事務局が想定しているから。ばらけそうだから6にする、という議論はここで決めてしまえばよい。4件は難しいけど6件なら選びやすいなどはあるか。
- 私は今日5件選んで来ている。この場で4件と決まったなら1件は減らす。
- 私も4件だと少しばらけてしまいそうな気がする。5、6件でもよいとも思う。
- 1回投票してみるのはいかがでしょうか。それであと2件くらい削った方がよいということになれば対応するのはどうか。
- 他の人の投票行動が見えてしまうから、投票数は決めた方がよい。
- 受賞歴のあるものを確認させていただきたい。あと具体的に聞きたいことが2点あるがまず受賞歴から知りたい。

▼ 受賞歴があるところは1か所。応募番号Bが、まちのアクセサリ賞を受賞している。

- 活動ではなく建物のデザインで受賞ということだ。4件では少ないから投票数を増やそうという意見があるが、5件にするか。5件で上位を丁寧に、どうするかと議論していくか。

- Cは大和市で社会福祉法人がやっているとのことだが、この応募書類は事務局のコメントでこども食堂と書かれているのか。
- この場所は障がい者の方が働いていて、彼女達がサービスをしているという情報は書かれていないが今は違うのか。
- ▼ 事務局のコメントとして、社会福祉法人が運営されていることを記載している。
- 事務局は補足的なコメントを記載している。事務局のコメントはどちらかという、客観的な事実を記載していて、ここがよいとかは書かれていない。
- 承知した。
- ▼ Cの応募者はこのお店を利用している方で働いている方ではないため他薦となる。
- 緑化活動もあるが、苗をオーガニックにしているとか、何か工夫されているところとか、SDGs的なところがあれば教えていただきたい。また、D、E番は具体的に何をされているか、わかるか。
- ▼ D、E番は主に高齢者の方が定期的に集まられて情報交換をされている。趣味でやっていることのご案内などを話題としている。場所は自治会館とコミセンを利用して行われている。
- このあと書類を見ながら各委員が5件選び、その上位から次回の現地調査先を決める。おそらく一回では決まらないと思うので、ボーダーのところは少し議論が必要かと思うが、5件に絞る。そのために、基本は書類審査だが少し事実関係でこういうことを教えて欲しいなどの質問を今行っている。この質問が終わり次第5件に絞るということなので、オンライン参加の委員の方も選定の準備をしていただきたい。

【書類審査・集計】

- ・各委員1人5件を選定し、事務局にて集計。
- ・事務局より集計結果を提示

- 集計結果の上位5件にするか、7件にするか。地図的に7件行くことは可能か。
- ▼ 市内7件くらいなら行けるのではないか。
- 上位の中で現地調査当日に活動していないものは動画の撮影・インタビューなどを行い、上位7件を候補にしてもよいのでないか。現地調査に行けない場所は事前に事務局で取材し、当日に会議室で報告してくれたらよいのでないか。
- この投票数は委員全員分なのか。
- ▼ 欠席者を除き、全員分となる。
- では、この7件を対象にして、当日に活動していない場所は事前に取材をしていただくので、どんなことを聞いてきて欲しいか、どんなところが見たいかを事前に決めておく取材しやすい。では、この7つを対象にするということでしょうか。

＜異議なし＞

- それでは、次回の進め方は当初の予定通り5段階評価でそれぞれの事例を点数化したものに総合点で順位を決めるということでしょうか。現地でメモを取り、会議室に戻り現地調査に行けないところも含めた情報提供があり投票をしてその結果が今回みたいに決定すればよいのではないかと。

3. その他

・事務局より事務連絡。

4. 閉会

以上